

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[DHCP を使用する AutoInstall](#)

[例](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、LAN 対応の AutoInstall 機能を使用して自動的に Cisco Aironet Autonomous アクセス ポイント (AP) を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ワイヤレス Autonomous ソリューション
- Cisco IOS® ルータでの DHCP サーバの設定

使用するコンポーネント

- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(8)JA2 が稼働する Cisco Aironet 1200 シリーズ AP
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(11)T が稼働している Cisco 2800 シリーズ ルータ (DHCP サーバとして使用)
- 任意の TFTP サーバ

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

[DHCP を使用する AutoInstall](#)

LAN インターフェイスに対して DHCP を使用する AutoInstall 機能を使用すると、デバイスを初

期化したときに新しいデバイスの設定が自動的に提供されます。DHCP は、設定情報を TCP/IP ネットワーク上のホストに渡すためのフレームワークを提供します。AutoInstall プロセスは、有効なスタートアップ コンフィギュレーション ファイルが NVRAM で見つからないときに開始されます。

AutoInstall プロセスには次の 2 つの主要フェーズがあります。

- IP アドレスの調達
- コンフィギュレーション ファイルのダウンロード

IP アドレス調達。このフェーズでは、デバイスは DHCP サーバを探し DHCP 要求を送信します。DHCP サーバは、IP アドレスをリースすることで応答し、設定されたオプション (この場合 TFTP の情報) を返します。

IP アドレスを取得した後のコンフィギュレーション ファイルのダウンロード フェーズでは、AutoInstall プロセスが TFTP サーバからコンフィギュレーション ファイルのダウンロードを開始します。

AutoInstall の詳細については、『[LAN インターフェイスに対して DHCP を使用する AutoInstall](#)』を参照してください。

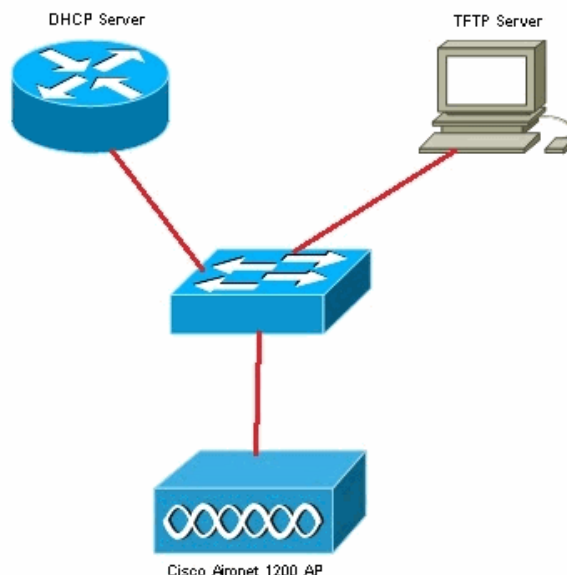
例

このドキュメントの例では、LAN 対応の AutoInstall 機能を使用して TFTP サーバに保存されているコンフィギュレーション ファイルをダウンロードする、事前設定済みの Cisco Aironet 1200 シリーズ Autonomous AP を使用します。

説明のため、Cisco IOS ルータを DHCP サーバとして使用し、TFTP サーバのルート ディレクトリに有効なコンフィギュレーション ファイルを保存します。

このドキュメントの例では、Cisco IOS ルータが DHCP サーバとして使用されています。次の IP アドレスを使用します。

- 10.78.177.16 : TFTP サーバ
- 10.78.177.30 : DHCP サーバ



Cisco IOS ルータがすでに設定され、ネットワーク上でアクティブであることを前提としています。ここでは、このドキュメントに必要な DHCP 設定のみを示します。

```
2800-ISR-TSWEB#show runBuilding configuration...Current configuration : 2029 bytes!!ip dhcp pool
autoinst network 10.78.177.0 255.255.255.192 bootfile 1200_AP_confg option 150 ip
10.78.177.16!
```

次に、TFTP サーバをイネーブルにして、TFTP サーバのルート ディレクトリに有効なコンフィギュレーション ファイルを保存する必要があります。

この例では、TFTP サーバがイネーブルになっており、コンフィギュレーション ファイルがルート ディレクトリに保存されています。

確認

事前設定済みの Autonomous AP を起動し、AutoInstall 機能が期待どおりに動作するかどうかを確認する必要があります。

AP コンソールのログを次に示します。

```
*Mar 1 00:00:17.032: AUTOINSTALL*Mar 1 00:00:32.216: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on
Interface BVI1, changed state to up*Mar 1 00:00:40.350: %DHCP-6-ADDRESS_ASSIGN: Interface BVI1
assigned DHCP address 10.78.177.4, mask 255.255.255.192, hostname apLoading 1200_AP_confg .from
10.78.177.16 (via BVI1): ![OK - 1885 bytes]*Mar 1 00:01:03.662: %SYS-5-CONFIG_I: Configured
from tftp://10.78.177.16/1200_AP_confg by console
```

このログからわかるように、この AP は TFTP サーバからコンフィギュレーション ファイルを正常にダウンロードしました。これは、AP 上で **show run** コマンドを発行することによって確認できます。

```
1200_AP#show runBuilding configuration...Current configuration : 1885 bytes!version 12.3no
service padservice timestamps debug datetime msecservice timestamps log datetime msecservice
password-encryption!hostname 1200_AP!enable secret 5 $1$VhbX$6jqz9MceJfKZJ8HWmTbtn!/ip subnet-
zeroip domain name shc.orgip name-server 167.94.17.92!!<Snipped>!interface Dot11Radio0 no ip
address no ip route-cache shutdown ! encryption key 1 size 40bit 7 055C207F4663 transmit-key
encryption mode wep mandatory ! ssid ceteam ! speed basic-1.0 basic-2.0 basic-5.5 6.0 9.0
basic-11.0 12.0 18.0 24.0 36.0 48.0 54.0 station-role root bridge-group 1 bridge-group 1
subscriber-loop-control bridge-group 1 block-unknown-source no bridge-group 1 source-learning no
bridge-group 1 unicast-flooding bridge-group 1 spanning-disabled!
```

関連情報

- [Microsoft DHCP サーバを使用したワイヤレス LAN コントローラ \(WLC \) での AutoInstall の設定例](#)
- [基本的な無線 LAN 接続の設定例](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)